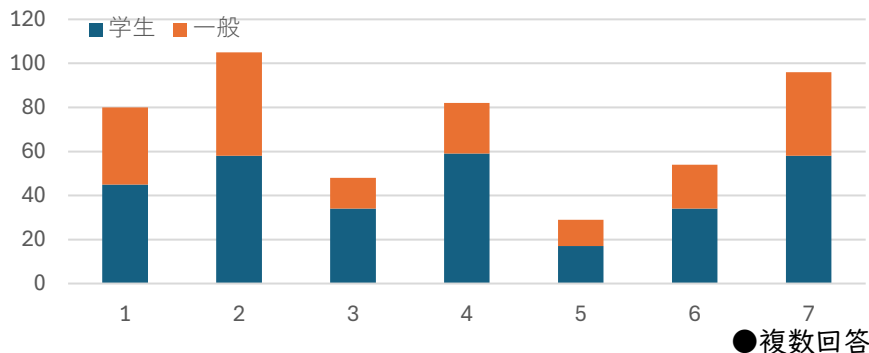




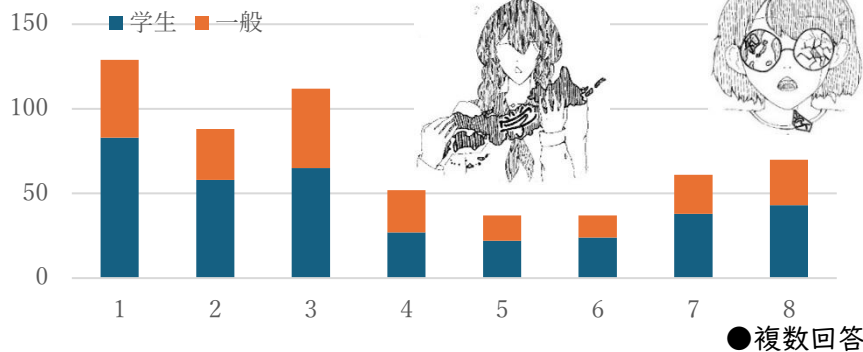
戦争の記憶をどうつないでいくか

●戦争の記憶をつないでいくための方法



- 1 戦争を直接経験していなくても、経験について語れる人を育てる
- 2 戦争体験者の証言をデジタル保存し、ネットで見られるようにする
- 3 本を読んで学ぶ
- 4 学校で学ぶ
- 5 家族・知人から話を聞く
- 6 マスメディアの番組・コンテンツを見る
- 7 平和に関する資料館・歴史館・戦争遺跡等の見学に行く

●平和のために大切だと思うことは何



- 1 戦争を体験した人の話を伝えていくこと
- 2 長野市や日本の戦争の歴史について学ぶこと
- 3 現在の国際情勢(世界の戦争・紛争の状況)について知る・学ぶこと
- 4 家庭や友人等と平和について話す機会を設けること
- 5 県・市や市民団体などが開催する平和イベントなどに参加すること
- 6 平和への想いを文や絵、音楽や劇などで伝えること
- 7 身近な人との関係を大事にすること
- 8 様々な文化・慣習を持った人々と知り合い、理解すること

●戦争に関するアンケート調査より
サマチャレ学生(109名)と一般ボランティア(73名)合計182名に聞きました

調査・聞き取りから 海軍の壕を突き止めた

昭和の安茂里を語り継ぐ会

安茂里小市の国道19号から北に臨む白土地帯の一面にその壕はある。「海軍が掘った壕がある」ことは以前から知られていたが、太平洋戦争末期、大本営海軍部が入るための壕として掘られたものであり、近年の研究で明らかにされた。

事務局長の土屋氏が当時の村長さんの日記を解読し、地域の人々と「昭和の安茂里を語り継ぐ会」を設立、調査、聞き取り、資料などから「大本営海軍部」であることを突き止めた。壕の大きさは入口縦2.3m、横

3.2m奥行19mの横穴で凝灰岩の地層に手掘りて掘られており、当時は奥行100mにもなっていた。

「昭和の安茂里を語り継ぐ会」は、海軍部壕を伝えることで地域への愛や平和の大切さを再認識し、次世代へ伝える力を強めたいと願っている。この壕を



壕内部



調査をまとめた資料室

「小市の宝」「長野の宝」「日本の宝」とやらえ、整備、保存し後世に残していくことを使命とし、地域とのつながりを大切にしながら戦争の愚かさ、恐ろしさを伝えていく。「戦争は一旦始めると終わらせることは非常に難しい」と今の世界情勢を鑑み語られたことが印象的だった。

記録によると昭和20年6月27日、この工事が始まった。奇しくもこの取材日が80年後の同日だったことは何かに導かれたのかもしれない。(みつ)

体験を聴くことで 記憶を継承する

集いに参加した大澤さんから聴いた



大澤寛子さん

大澤寛子さんは1927年生まれ、98歳。18歳の時、長野駅で空襲を受けたそうです。大澤さんは当時の様子を次のように話してくれました。

◇◇◇◇◇

私は当時、長野市大豆島に住んでいて勤務先が長野駅の改札でした。空襲があった日、前日から駅に泊まっていた。8月13日朝、空襲警報が鳴り、駅は空襲を受けました。私は改札のお金を持って駅の前にあった防空壕へ逃げ込みました。防空壕の中には兵隊さんや自分たちだけでなく、東京から逃げて来た人も大勢いました。

少しの間「バリバリバ

ー」という音がして怖かったです。

自宅にいたときは、機銃の音が聞こえると、兵隊さんたちはトラックに乗り、保科の方へ向かいます。それを見たら「空襲が来る」と教えられ、近くの防空壕に逃げたのを覚えてます。その防空壕はかぼちゃのつるで見えないようにしてありましたが、機関銃で葉っぱがガサガサしたのがとても怖かったです。

終戦後はま

だ長野駅に勤めていましたから、兵隊さん、憲兵さんたちはリユックサックの上に乗った毛布を背負い列車から下りてくるのをよく見まし



パンフレットより

令和7年8月13日に「第40回長野空襲を語る集い」を開催したのは、長野空襲を語り継ぐ会。今から40年前、裾花小学校の生徒たちが長野空襲を調査し、多くの証言を集める取組がきっかけで発足した団体です。

集いでは体験発表がありました。初めに話された小野塚健夫さんは、爆撃の怖さ、恐怖、そして親友の死。ショックで何も話せなくなったそうです。しかし、ある新聞社に掲載されたが反響はゼロ。このことをきっかけで孫には伝えていかなければと話すごになりました。

た。お米やりんごを東京へ売りに行く人も少なくありませんでした。もう二度と戦争をしてほしくないし、孫や若い人には体験してほしいです。(らいなす)



コープながのでは若い世代に戦争・平和について後世に語り継ぐ大切さを学び、考えをもち、機会として「平和新聞」を製作する企画を中学生に提供しています。

これは全国生協連が主体となり、18の生協が企画・参加しています。

平和新聞づくりで後世に語り継ぐ

生活協同組合コープながの



▲制作中の平和新聞

特に今年は戦後80年にあたり、戦争経験者がどんどん減っている中、直接話を聴けるのは現在の小中学生が最後の世代になると言われ、取材を通じて平和を考えてもらう機会になればというのが狙いです。

5月から始まり、長野市民新聞さんのサポートで新聞の作り方や取材準備を学んだり、松代大本営を取材したりしました。

「暗い地下壕の中で作業は大変だったと思う」と、子ども達ならではの素朴な感覚が記事の元になっています。3ヶ月かけた力作の平和新聞を読めるのは間もなく、コープのお店の他、10月5日にセントラルスクエアで開催される長野県協同組合フェスティバルで展示されますので、ぜひ皆さんご覧ください。

(茶嶋)

■コープながのフェスタ

9月27日(土) 10:00~14:00

会場:安曇野スイス村サンモリッツ

■長野県協同組合フェスティバル

10月5日(日) 10:00~15:30

会場:ながの表参道セントラルスクエア

戦争に反対するには小さな抵抗が必要だ

戦争をしないさせない共同行動ながの

会の創設は2001年9月11日のアメリカ同時多発テロ事件にさかのぼる。この事件後テロとの戦争になるだろうと恐怖を感じ、これを止めたいと思った有志が集まり街頭に立つことを決めた。

「『テロとの戦いは正義』だと決めつけ、世界が戦争に流れていくことを止めたい、でも何をしたらいいのかわからない、でも何か行動を起こしたい。」というモヤモヤを打ち消すため、団体の登録等を済ませ長野駅前で「反戦」を呼びかけチラシを配った。その日、街頭に立った仲間は百名を越えた。

メンバーの想いは「戦争を止めたい、戦争を始めさせてはいけない」という一心で一致しており、20年以上経った今でもぶれることはない。また、当初から単に「反戦」を叫ぶだけでなく、有事法制、改憲などについて勉強会の開催や参加にも地道に取り組んでいる。

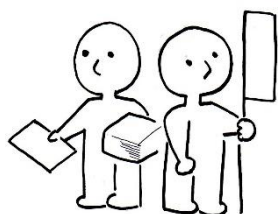
「戦争に反対するには小さな抵抗が必要だ」と声をそろえた。

今は戦後80年の岐路を取り上げるよりパレスチナ問題に取り組んでおり、現地にいた人の話を聞く機会の準備をしている。

街頭での反応について尋ねると、チラシはなかなか手に取ってもらえないそうだが、関心を示してくれるのは年配者が多いが、中学生が受け取ってもらえることもある。

「ボランティアに一生懸命関わっている若い人たちに戦争のことを考えてもらいたい。」と語った。

(みつ)





子どもたちと一緒に遊具で遊ぶ中学生

サマチャレの活動現場を 高校生が突撃取材したよ

サマーチャレンジボランティア2025は、中学生から社会人まで230人が参加しました。46の受け入れ先でそれぞれ3日以上ボランティア体験をしました。その活動の様子をサマチャレに参加した高校2年生3人が現場へ突撃取材をしました。

♡こどもから
元気もらった

こども広場「じゃん・けん・ぽん」で活動した中学2年生に話を聞きました。じゃん・けん・ぽんは、木や手作りおもちゃが豊富な乳幼児が遊べる施設です。彼女は自分からボランティアをしたいとこの施設を希望しました。活動は、小さい子どもと一緒に遊んだり、お母さんと話をしたり、おもちゃの片付けをしました。最初は、何をして良いか分からないことがたくさんあり不安だったそうです。2歳ぐらいの子どもがぬいぐるみを渡しに

きて逆にボランティアをしてもらったようだと話してくれました。2日目は慣れて楽しくかわること

ができ、最終日は積極的になってきたらいいなどのことでした。子どものお母さんと話して子どもはとてもかけがえのない大切な存在なんだと感じ、将来自分もこんなふうになりたいと話していました。

佐藤時倅

♡すきなことを
活かした
活動いいな

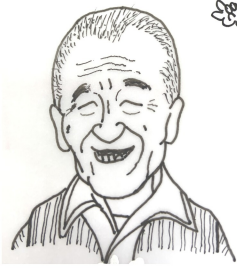
ねこはなんてんサロンは、被災地のみなさんに着てもらったねこはなんてんを作っています。ねこはなんてんは、背中に綿が入っているあったかい防寒着です。サマチャレ参加の高校3年生の二人は、手芸が好きで得意ということでこの活動に参加したそうです。初日は、怒られたらどうしよう・お年寄りの方と話すのは苦手だけど大丈夫かなと不安もあったそうですが、一緒に活動している方々に沢山声をかけてもらい楽しんで作業ができたと話しています。着物地を扱うのは初めてでやらずらく難しかったそうです。

この二人の様子を見て、自分の好きなことや得意なことをボランティアに活かすことによってする方もされる方もすごくプラスになると感じました。ねこはなんてんサロンの皆さんは、作る人を増やしたいと言っています。自分の趣味を生かせるボランティアって素敵ですね。

宮條瑚子



ねこはなんてんで裁断した布を縫っている高校生



西 勲さん

「物事に熱中するのは良いか悪いか分からねえが一つの事やり出せばトコトンやってしまうんだ」と自己分析するのは西勲さん(91)。自動車学校の指導員を30年余り勤め定年退職。

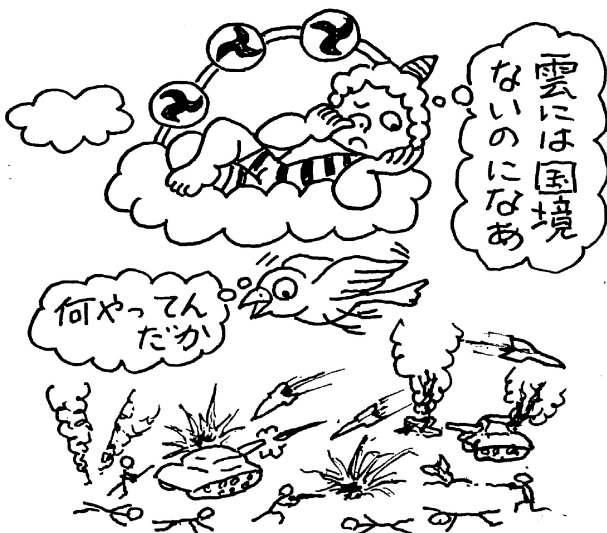
「やる事なくてボーっとしてたら先輩から『早くボケちゃうぞ』と言われてね」。そこで一念発起して花木の挿し芽や剪定方法等を習得した。今ではあちこちへ庭木の剪定に出掛けており、ご自身の家の庭でも花づくりに精を出す。

歌が好きでノド自慢大会にも出場したり、社交ダンスは40年間続けていて指導もしている。更に折り紙を習って現在は教える側に立つ。多才な趣味がボランティアに生かされたのである。ボランティアセンターでは不要カレンダーを使いエコ封筒を作り、かわらばんの封入れ発送作業も行っている。

卒寿を機に自動車免許を返納したため今はアシスト自転車愛用する。「長野西高校のスポーツレストランに参加してポッチャ球技で体力、気力の温存に努めてます。西高への坂道はきついけど自転車で登ってます」と笑った。

得意技術で7変化できちゃう西さん。何だか昭和のテレビヒーロー「七色仮面」みたい。(大日方)

一笑一服



2025

高年齢の方が入院やリハビリをする施設です。サマチャレに

参加していたのは同じ学校の先輩でした。参加のきっかけは、医療系にすすみたい、看護師になりたい希望があり将来に活かしたいと思ったそうです。一日目は患者さんのシーツを変えたり、御膳の片付けをしました。午後はペットボトルを使ったレクリエーションと一緒に楽しみました。取材した2日目はリネンセットの作業をしていまし

た。体験をして、看護師さんの力になれたり少しでも患者さんと触れ合えて良かった。普段行かない現場で体験できたことが良かった。自分の活動が人の助けになっていると分かったと二人は話していました。病院は、沢山の診療科の先生と看護師、リハビリや介護の担当、栄養士などによるチームで成り立っていて、そのチームの一員になれたことがすごいなと感じました。

ボランティアは自分から一歩踏み出して行う活動です。災害支援や高齢者の手助けなど沢山の活動があります。人の役に立つ喜びや感謝の気持ちをもらえるのが大きな魅力です。また、人と関わることで、自分の成長に大きくつながることが分かりました。積極的に参加することが大事ですね。

倉島さん

私は取材をして相手の気持ちや理解しようとする姿勢が信頼につながると感じました。また、自分とは違う考え方や感じ方に触れ合うことで視野が広がりました。この経験をこれから生活にも生かしていきたいです。

佐藤さん

記者3人の感想

サマチャレ記者担当からのまとめ

3人のかわらばん記者のみなさんの突撃取材はドキドキの連続でした。初めて行く場所、初めての記者体験。取材の仕方を学んだものの、実際の現場では、緊張そのものでした。それでも皆さんが書いた記事からは、サマチャレ参加者の活動の様子が伺えます。サマチャレに参加した理由も活動先もみなそれぞれ違いますが、参加者が得たことは、この夏一番の宝物になったことでしょう。

問合せ ホワイトナッツ（担当：本田）
TEL 026-226-8740

■～かきねをわたりあるく～ hanpoキャラバン

かきねをテーマにしたアート展×トークイベント。様々な地域をアートをテーマにして繋がっていきます。

日時 6月15日(日)～12月13日(土)

問合せ・メール info@hanpo-nagano.com

TEL 080-1038-3541（担当：草深）

■文学座公演 “欲望という名の電車”

1953年、アメリカで初演したお芝居です。70年以上たってもアメリカと日本で上演されている名作です。

是非、生のお芝居と一緒に観ませんか？

日時 9月8日(月)18:15（開演）

場所 長野市芸術館 メインホール

問合せ 長野市民劇場

TEL 026-224-1919

編集委員会より

《ボランティアかわらばん7月号の特集「男だって介護はできる」の記事について》

男女に性差はありませんが、全体的にジェンダーへの配慮が欠けてしまう結果となりました。

今後ともご意見やご感想がございましたら、長野市ボランティアセンターへお寄せください。



いつも傾聴でんわ

哀しかった・辛いな・嬉しいことがあった…
どんなことでもお話しください。

お電話
待ってます

TEL 026-225-0404

月・土 14:00～18:00 水 14:00～21:00



インターネット放送局「ながのTV」の生放送番組
毎月第2火曜日19時ON AIR

長野ボランティアステーション

9月9日(火)は

「すいせんマジックサークル」
です。

出演者大募集中



お問合せ／長野市ボランティアセンター



長野市ボランティアセンターへ

ご寄付ありがとうございました！

ハガキ、切手、テレフォンカード、ベルマーク等
(7月17日～8月15日分)

瀧澤史貴 瀧澤行政書士事務所 ユメワーク長野
明治安田生命保険相互会社長野支社昭和通営業部
長野シルバー人材センター三輪班 長野市収納課
長野市市民窓口課 カがやきひろば東北 カがやきひろば松代
匿名5名（敬称略・順不同）

どなたでも
“ふらっと”
参加できます



長野市ボランティアセンターで開催しています

問：長野市ボランティアセンター TEL：026-227-3707

エコ封筒を作ろう

古いカレンダーを再利用して封筒を作ります。年齢・性別を問わず、ご参加いただけます。



10月7日(火)10:00～11:30

11月4日(火)10:00～11:30

切手の小箱サロン

チーズやお菓子の空き箱に古切手を貼ってステキな小箱を作ります。のんびりゆっくりおしゃべりしながら楽しい時間を過ごしましょう。

9月12日(金)13:30～16:00

10月10日(金)13:30～16:00



ねこはんとんサロン

ねこはんとんの作り方を教えていただけます。楽しく、おしゃべりしながらご参加いただけます。お気軽にお越しください。

9月8日(月)・12日(金)・17日(水)・19日(金)・

25日(木)～開催時間はお問合せください～



グリーンボラカフェ

花や緑が好き、ちょっと園芸にかかわってみたい方など、どなたでも気軽に参加していただけます。

9月11日(木)13:30～15:30

10月9日(木)13:30～15:30



読者アンケートにご協力ください

右のQRコードを読み込んでいただき、
感想やかわらばんで取り上げてほしい
内容を投函してください。



「ボランティアかわらばん」音声でも楽しめます

視覚障がい者への音訳ボランティアグループ「やまびこ会」
による音読版「ボランティアかわらばん」を長野市社会福祉協
議会のホームページで公開しています。

こちらの二次元コードから →



募 集

■「信大生と昭和歌謡で交流しよう」 一般参加者募集

昭和のおっさんが信州大学レトロ音楽倶楽部を招いて、
推し曲で対バンド、皆でも歌う異世代交流会。

詳しくは「ゆる〜いおっさんの会」で検索しHP上のお
知らせで。

日時 9月6日(土)14:00~16:00

場所 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

定員 先着60名、8月30日(土) 正午よりHPで受付

参加費 無料

問合せ ゆる〜いおっさんの会 多世代交流会PJ

TEL 090-1933-7634 (担当: 酒井)

メール yurukai@manbou-p.net

講 座

■家庭訪問型子育て支援ホームビジター 養成講座 説明会

子育て支援ボランティアを募集しています。子育て経
験がある方。養成講座を修了していただく必要があります。
まずは説明会にお越しください。

日時 9月12日(金)10:30~11:30

場所 もんぜんぶら座 801会議室

問合せ ホームスタート・ながのこどもの城

TEL 080-9579-2078 (担当: 中島)

■仲秋を感じる炭アート

数種類の新秋のお花・植物を、自分好みに炭鉢に植え
(炭を鉢に見立てて作ります)、炭鉢の表面に苔を植え
ます。炭鉢がお皿に張った水を吸うので長持ちします。

日時 9月21日(日)または28日(日)14:00~15:30

場所 長野市生涯学習センター 3階 第4学習室

講師 石井晴美 氏

対象 どなたでも 定員 各回24人(先着順)

参加費 1,700円(当日持参) 申込締切 9月14日(日)

問合せ 長野市生涯学習センター(担当: 竹田)

TEL 026-233-8080 FAX 026-233-8081

メール s-gakushyu-c@city.nagano.lg.jp

■〜小瓶の中の輝く世界〜 魅惑のハーバリウムづくり

小瓶の中で美しく輝くハーバリウムを造ります。ハロ
ウィン風にもできますし、お好みのデザインで造ること
もできます。初心者でも大丈夫。楽しんでみましょう!

日時 10月5日(日)14:00~15:30

場所 長野市生涯学習センター 3階 第4学習室

講師 島田みち子 氏

対象 どなたでも 定員 24人(先着順)

参加費 2,200円(当日持参) 申込締切 9月25日(木)

問合せ 長野市生涯学習センター(担当: 竹田)

TEL 026-233-8080

FAX 026-233-8081

メール s-gakushyu-c@city.nagano.lg.jp

お知らせ

■“秋の食養生!” —東洋医学で免疫力up!—

秋は食べ物の美味しい季節です。食事を通して健康維
持、旬の食材を食べることで体の内側からバランスを整
え、体質改善や病気になりにくい体質が食養生です。

日時 9月13日(土)13:30~

場所 安茂里公民館 2階学習室

講師 中医学・理学博士 中嶋研二 氏

定員 20人 参加費 500円 申込締切 9月12日(金)

問合せ・TEL 090-2179-9741(担当: 高遠)

メール sowing.net@gmail.com

■カノンの会「大人の発達障がい当事者」 の交流会

発達障がいがあることで、困っていることや、悩んで
いる事、趣味や興味のある事などを気軽に話せる場所で
す。グレーゾーンの方もお気軽にご参加ください。

事前にお申込みが必要です。

日時 9月13日(土)13:20~16:40

場所 もんぜんぶら座 601号室

対象 当事者及びご家族の方 参加費 無料

問合せ カノンの会(担当: 宮下)

TEL 080-8821-3327

■秋の彼岸寄席

秋の彼岸寄席を開催しますので、どうぞお越しください。

日時 9月14日(日)13:30開演(13:00開場)

場所 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

問合せ 長野らくら倶楽部(担当: らくら亭洋々)

TEL 026-243-4054

■腎臓病勉強会

あなたの腎臓を守るために、あなたのご相談にお答え
します。一人で悩まず話してみませんか。

申込み方法: 2日前までに下記連絡先へ予約

日時 9月14日(日)・10月5日(日) 9:30~12:00

場所 長野市ふれあい福祉センター 5階会議室4

問合せ・TEL 090-2630-1053(担当: 中村善信)

■「お彼岸交流会」に集合!!

昭和100年、戦後80年、日航機事故から40年…メモリ
アルな年。秋の彼岸に集まって楽しい一時を共有しましょ
う。みんなで「おはぎ」を作って食べましょう。

日時 9月23日(火・祝日) 13:00~

場所 長野市ふれあい福祉センター 4階

対象 精神障がいに関心のある方(当事者、家族、一般)

参加費 300円 申込締切 9月16日(火)



社会的処方でおせっかいの リンクワーカー



孤立や孤独が問題になっている中、人と人とのつながりの必要性が再認識されています。

本講座では一般社団法人プラスケア代表理事であり医師でもある西智弘氏から「リンクワーカー」の取り組みを通し、つながりの持つ力が心身の健康にも必要であることを学びます。



※リンクワーカーは、人と地域や社会資源をつなげることで、孤立や孤独の解消をサポートする人のことです。孤独を感じている人を地域の趣味グループ等につなげるなど、「つながり」を処方するおせっかいさんです。

日 時：令和7年 **9 月 23 日** (火・祝) 13 時 00 分から 16 時まで

場 所：長野市ふれあい福祉センター5階ホール

対 象：おせっかいな方（自薦他薦を問わず）、おせっかいに興味のある方、
住民自治協議会役員、地域活動者、
包括支援センター他各種機関※お誘いあわせの上ご参加ください。

内 容：西先生の講義とともに、みなさんの「おせっかい」な気持ちを共有します。

参加費：500 円

申し込み方法：長野市ボランティアセンターへ（下記 連絡先へ）

幸せの黄色いレシートキャンペーン

2026 年度参加団体募集受付が始まります！

「幸せの黄色いレシートキャンペーン」は地域のボランティア団体を応援するイオンの取り組みです。長野市ボランティアセンターは団体の仲介でイオンに協力しています。2026 年度参加ご希望の方は、長野市ボランティアセンターへお問い合わせください。

キャンペーンの詳細はイオンの

ホームページからご覧ください。→→→



◇参加申込期間 9 月以降

◇キャンペーン期間 2026 年 3 月～2027 年 2 月

◇問合せ先 下記連絡先へ

10 分からできる！

すきま時間ボランティア



学校帰り、仕事帰り、家事や送迎の合間にちょこっとボランティアしませんか？

♡ こんな方にお勧め

- ・決まった日時の活動はむずかしいけど自分のすきま時間に何かしたい
- ・人とおしゃべりしながら気軽に活動したい
- ・子育てや介護の合間に地域と関わりたい

♡ 参加方法

ボランティアセンターへ予約なしで来所し、やりたい作業を選んで活動。時間になったら自由に終了

♡ 問合せ 下記連絡先へ

お問合せ：長野市ボランティアセンター TEL 026-227-3707

10 月号は 9 月 30 日(火)発行予定。情報掲載希望は 9 月 16 日(火)までにお問合せください。〈TEL 026-227-3707〉